

まんのう町教育委員会だより

爽そうふう風

子どもの健やかな成長を願って

平成29年【2017】

12月1日発行

Vol.4
Contents



- P.2-3 園・学校ウォッチング
長炭小学校・高篠こども園
- P.4-5 シリーズ 子育てを考える
- P.6-8 特集
写真でたどる なつかしの学校
- P.9 集まれ～！校章
- P.10-11 「子ども未来夢基金」を
活用して
- P.12 ホットニュース
- P.13 関係機関からのお知らせ



それっ、今だ！

長炭小学校のなかよし班活動で 大なわくぐりに挑戦する子どもたち
(2ページに関連記事)

園・学校 ウォッチング



つながり 高め合いながら学ぶ 長炭小学校

聴き合いながら 協力して学ぶ

本校では、「学び合い」を重視しながら、全員の子ともが夢中になって学ぶ授業をめざしています。

そのために、分らないことを「分からない」と伝えることを大切にしています。また、ペアやグループでお互いの考えを「聴き合う」ことにより、自分の考えを見直し、より深めたりできるようにしています。

特に算数では、「チャレンジ課題」が子どもたちの意欲と思考力を高めています。「チャレンジ課題」とは、一人で解けないけれども、仲間と知恵を出し合つていくことによって何とか解決することできる、ちょっと難しい課題です。難しいだけでなく、子どもたちの実生活につながる内容となるような工夫をしています。

本校は103名。自立に向かう教育の創造を掲げ、「子ども一人一人が大切にされ、なかまとともに切磋琢磨する いい顔 いい声あふれる学校」をめざしています。



なかよし班で異学年とつながる

春と秋の遠足、運動会、月に2回水曜日の朝の「めざましタイム」など、1年間を通して異学年で構成する「なかよし班」での活動を取り入れています。

秋の遠足では、いくつかの候補地の中からどこへ行くか、自由時間には何をして遊ぶかなどをなかよし班で話し合つて決め、バスの座席も、下級生と上級生が一緒に座ります。

「大丈夫、」
6年生のやさしい問いかけに、「大丈夫！」
と1年生が答える光景は、長炭小学校の日常となっています。



自分で考えて行動できる子に

上級生は上級生らしく下級生のお手本になる行動をし、下級生は上級生のその姿を見て憧れを持ち、真似ながら生活しています。

朝会では、学級で整理して体育館に入場するのではなく、子どもたちは、開始時刻に間に合うように時計を見て個々に体育館に入っていきます。自分の場所に来たら、静かに座って待ちます。

また、あいさつをはじめ、廊下の歩き方、靴や傘、ロッカーの整理・整頓、時間を守ることなど、「長炭小学校のきまり」として定められていることについて、少しずつステップアップできるよう学級で話し合い、互いに声をかけ合っています。



みんなでつくり出す豊かな環境

四季の移り変わりを感じさせてくれる木々や草花に囲まれ、高い山や小川、木製のアスレチックがある園庭。3歳児から5歳児までの子どもたちが異年齢でつながりながら遊びを楽しむ園舎。

一人一人の子ともがつながりながら、明るく温かなかわりを何よりも大切にしたいと願う先生方。園児や園生活を支えてくださる保護者や地域の方々。

それらすべてがひとつになつて、子どもたちの確かな育ちを支える「高篠こども園」という豊かな環境になっています。



小さな育ちをつないで 大きな育ちへ

高篠こども園



精いっぱい頑張った時間が あつたから

草むらで、何か見つけて、虫取り網で捕まえようとする3歳児。じっと一点を見つめ、足音を立てないようにそっと、声を潜めて近づきます。

草の陰にいた幼虫をやつとの思いで捕まえ、今度はそれを観察ケースに入れようとするけれど、うまく入らない。悪戦苦闘のなか、ふと振り返ったら後ろで黙って様子を見守る先生がいたことに、やがて気づきました。

ほっとした表情になり、「虫入らん」と一言。「手伝おうか。」と言って手を添えると、幼虫は、無事観察ケースに入っていました。子どもの表情は、満足そのもの。

後ろでそっと見守る先生に気づかないほど夢中になり、自分たちで精一杯頑張った時間があつたからこそ、この満足につながったのだと思います。



そっとしよう！

喜びや悔しさを共有しながら

サッカー熱の高まる5歳児。朝、登園すると、誘い合つてサッカーを始めます。一学期からずっと続けてきた結果、一人人が上達しただけでなく、チームとしての充実を感じます。



シュート きめるぞ！

声をかけながらボールを渡したり、ゴール前でポジションの相談をしたりしながら、仲間と力を合わせてプレーに挑んでいます。こんな時は、先生もチームの員となつて参加し、相談相手になったり喜びや悔しさなどを共有したりしながら、子どもたちを支えています。好奇心や探究心を満足させていくことが、思考力の基礎を培つていくことにつながっていくからです。

高篠こども園は、3歳から5歳の園児が生活する、幼稚園型認定こども園です。

入園するまでの生活経験は子どもによって様々ですが、入園後はそれまでの育ちの上に、3歳から4歳へ、4歳から5歳へ、そして小学校へと育ちがにつながる教育や保育を大切にしたいと考えています。子どもも保護者も安心して通える園でありたいと願い、取り組んでいます。

子育てと考える

子ども自らが創り出す

親や教師が願う「育ってほしい子どもの姿」は時や場を超えて、不変であると思います。

○健康であってほしい、という。

○知恵を身につけ、自分の力で人生を切り拓いてほしい、という。

○友と仲よく、共に生きてほしい、という。

この3点が実現できれば、どんなに21世紀が変化に富んだ時代であっても、たくましく生きていくはずだ。

自立した子どもを育てるために親や教師はどのような基本的な構えを持てばいいのでしょうか。

子どもの成長は、

子ども自らが創り出す

東京学芸大の平野朝久氏は「はじめに子どもありき」という本の中で「子どもの成長は子ども自らが創り出していくものであり、また、そういう力を子どもが持っているという前提に立たなければならぬ。子どもを見守り、その子

どもが何を考えているのか、何をしようとしているかということに目を向け、耳を傾けるようにしたい。子どものために力めればよい。子どもをだめにしていることではないだろうか。早く成長させようとして無理に力を加えることがかえって害を招くことになる」と記しています。



植物を育てるような

思いを大切に

河合隼雄氏は「子どもと学校の中で、子どもを育てるといつか『植物』をイメージする。太陽の熱と土があれば、植物はゆくりと成長してゆく。子どもを機械のように考えて『育てる』のは『育てる』と、教師観がそれをコントロールしにくくなる」と、思いのままに

ならないことが出てきて、いやになるのではなからうか。植物の成長を楽しんでみるような態度を身につけると、楽しみが増えるように思われる。子どもに対して、将来の準備として知識や技能を身につけることが強調され過ぎているように思う。今のこの人生を一人の人間として充実して、深く丁寧に生きることが大切である。実は、そうすることが将来の準備にもなるのである」。

「子どもの心に寄り添う」ことの大切さが問われているのです。子どもを育てることは、草花（植物）を育てるのと同じで、人にできることは、日光がよく当たるようにしてやること、まわりの雑草をとってやること、必要な水と適度な肥料をやること、そして、その育ちを期待してじっくり待つこと、であり、それらを吸収して育つたのは草花自身の力であり、また、バラの花が気にくれないと、バラの木にユリの花を咲かせることができないのと同じように人が無理に手を加えても草花自身を枯らしてしまうことに、もたれかねません。子どもの心に寄り添っていくことの大切さが問われているのであります。

（教育長 三原 一夫）

まどみちおさんには、こんな詩もあります

うさぎ

うさぎにうまれて
うれしい うさぎ
はねても
はねても
はねても
はねても
うさぎで
なぐなりやしない



くまさん

はるが きて
めが さめて
くまさん ぼんやり かんがえた
さいているのは たんぼぼだ
ええと ぼくは だれだ
だれだ



はるが きて
めが さめて
くまさん ぼんやり かわに
みずに うつつた いいか
そつた ぼくは くまだ
よかったな

まどみちお

まどみちお

まどみちお

まどみちお

まどみちお

まどみちお

まどみちお

まどみちお

まどみちお

まどみちお

まどみちお

まどみちお

※ まどみちおさんは、1909年に山口県で生まれ、2014年に104歳で亡くなりました。「やぎさん ゆうびん」「ふしぎなポケット」「1年生になったら」など、おおかでユーモラス、そして、やさしさにあふれた詩をたくさんつくりました。



この詩について作者のまどみちおさんは、「この歌は、『ぞうに生まれてうれしいぞうの歌』と思われたがついていでしょう。」と言っています。

—ぞうさん ぞうさん おはなが ながいのね—と言ったのはだれでしょう？人間でしょうか。それとも、ほかの動物でしょうか。「ぞうさん、あなたの鼻は長くて、とてもすてきですね。」そんな思いで言ったのでしょうか。それとも、「あなたの鼻はほかの動物とちがって、長くてヘンテコですね。」と言ったのでしょうか。

そんなふうに言われたぞうの子は、胸をはってこう答えたのです。

—そうよ かあさんも ながいのよ—

「ほく（わたい）のこの鼻、かっこいいでしょう。大好きなお母さんとおなじなんだよ。」

「ぞうに生まれてうれしいぞうの歌」には、そんな気持ちが込められているように思えます。ぞうとして生かされていることが嬉しいと思えるぞうの子ども。すばらしいですね。



自分を大切に思える子どもは、 友だちも大切にできるのです

— 人権週間(12/4~10)に寄せて —

2011年10月11日、滋賀県大津市で、同級生からいじめを受け続けていた中学2年生の男子生徒が、自宅マンションの14階から飛び降りて亡くなりました。このような痛ましい事件が二度と起きないよう、2013年に制定・施行されたのが「いじめ防止対策推進法」です。この法律では、何がいじめなのかを示すとともに、いじめ防止に向けて、国、自治体、学校それぞれが取り組むべきことを明確に定めました。これを受けて、各小・中学校では、学校ごとに「いじめ防止基本方針」を策定し、毎年見直しをしながら現在に至っています。

法律が制定・施行されて4年…。けれども、残念なことに悲しいニュースは後を絶ちません。学校においては、なお一層いじめのない学校づくりに向けての細やかで毅然とした取り組みが求められています。

いじめをする子どもは、自分への肯定感が低いと言われます。自分を大切に思える子どもは、友だちも大切にできるのです。町内の園や学校では、子ども一人一人が「**自分はまわりから認められている価値ある存在だ**」と実感できるよう、一人一人の子どもに心に密着したかわりに努め、活動を工夫しています。

家庭においても、**家族みんなから愛され必要とされている大切な存在であることを子ども自身が実感できるような言葉かけや接し方**を常に心がけ、実践していくことによって、「自分も友だちも大事」と思える子どもが育っていくのです。



神野小学校

吉野小と神野小は昭和56年に統合し、満濃南小学校が開校しました。



昭和35年ごろの吉野小学校

写真でたどる なつかしの学校



明治42年ごろの四條尋常小学校

吉野下村立秀生学校は、四條村立常盤学校とともに明治7年に開設されました。明治20年に四條尋常小学校となり、その後、四條村立尋常高等小学校を経て、昭和22年に四条小学校となりましたが、満濃町立四条小学校と改称されたのは昭和30年のことです。



明治23年 吉野下村立秀生学校



造田小学校玄関

昭和48年3月まで、琴南には勝川、川奥、中通、造田の4小学校がありました。その後、東小、西小に統合され、平成17年に琴南町立琴南小学校になりました。



昭和49年 仲南東小学校中庭

昭和52年に鉄筋コンクリートの校舎に改築される前の仲南東小学校です。



昭和47年 高篠小学校校舎前

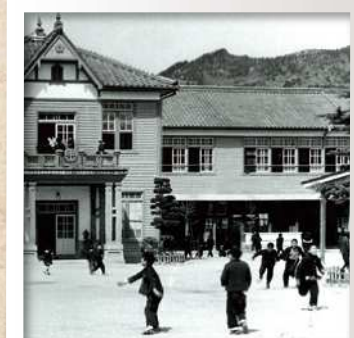
現在、町内の中学校は一つですが、もともとは琴南、満濃、仲南それぞれの町に複数ありました。

琴南は、美合中、美合中川奥分校、造田中の3つが統合して昭和46年8月に琴南中学校が誕生しました。

仲南は、七箇中、十郷中がそれぞれ仲南東中、仲南北中になり、その後昭和48年に仲南中学校になりました。

満濃は、町内の旧5か村にそれぞれ長炭中、吉野中、神野中、四条中、高篠中がありました。満濃中は吉野、神野、四条に榎井を加えた「四か村組合立」満濃中学校を経て、昭和34年に「満濃町立」満濃中学校になりました。

高篠中、長炭中は、それぞれ昭和32年、昭和37年に廃校になりました。



昭和35年 長炭小学校校舎正面

その形から「ヨの字の校舎」として児童や保護者に親しまれていた木造2階建の校舎です。現在の校舎は、昭和46年に落成しました。



川奥小学校のかまくら

仲南の小学校は仲南東・仲南北・仲南西の3つありました。その前身はそれぞれ、七箇、十郷、十郷南小学校です。平成18年、3町合併に伴い3小学校が統合して、まんのう町立仲南小学校になりました。



美合中学校川奥分校



長炭中学校



昭和の学校生活



教室に子どもがぎっしり。法律で1学級の人数の上限が規定されたのは、昭和33年のことです。はじめは50人以下学級からのスタートでした。

現在まんのう町では、小1から中3まで35人以下学級を実施しています。

白いトレシャツ・トレパンが印象的ですね。帽子も白。うちわのようなものを持って踊っています。

先生方手作りの舞台上で熱演しています。



水泳学習は海や川などの自然のプールで行われていました。町内の小・中学校にプールができたのは、昭和30～40年代です。



1. 噴水の掃除 (昭和35年ごろ: 吉野小)

2. 運動会 (昭和27年ごろ: 高篠小)

3. 授業風景 (昭和30年ごろ)

4. 自然のプール (川奥小)

5. 学芸会 (昭和29年ごろ)

6. 臨海学習 (昭和32年ごろ: 仲南東小)

7. 校庭での盆踊り (昭和26年ごろ: 長炭小)

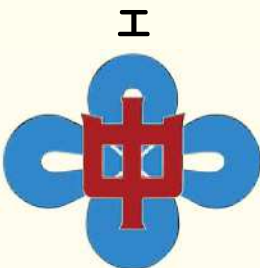
背景となっている7弁の花は、旧町の町花「しゃくなげ」です。その中に旧町の町章を配置しています。



四を簡単にしたデザインは、シンプルで分かりやすいですね。

同じ文字3つで、きれいな六角形ができていますね。

美しいブルーは、満々と水をたたえる満濃池を表しているという説もあります。



旧町の町木・町花「梅」から伸びる3本の矢は、統合した3小学校の協力を表しています。毛利元就の「3本の矢の教え」から取り入れました。



集まれ〜! 校章

*町内小・中学校の校章を集めました。それぞれ、どこの学校の校章でしょう。あなたは、いくつ分かりますか？



「高」がつく学校と言えば…？

青い部分は、ペン先のようにも見えます。いったい何を表しているのでしょうか。



一般公募により、応募総数約80点の中から選ばれた、当時満濃中3年今田喜己さんの作品に大鹿重雄先生が手を加えたもの。

スクールカラーのえんじ色で帆船をかたどり、「希望に満ちた船出」を表現しています。



※ お問い合わせ

校章についての情報が不足しています。ここに紹介した内容と異なる情報をお持ちの方がいらっしゃいましたら、まんのう町教育委員会学校教育課（☎73-0108）までお知らせくださるようお願いいたします。

【正解】

ア	長炭小	3つの「ス」は炭所東・炭所西・長尾の3つの大字を表しています。「ス」が3つで…。
イ	四条小	まわりの7つのとげは、7つの村を表しているという説もあります。
ウ	琴南小	町章は「南」の字をかたどり、下方の円は和合と団結、上部は希望、両翼は飛躍・発展を表しています。
エ	満濃中	4つのふくらみは、昭和28年に四か村組合立になった時の4つの村を表しています。（P6参照）
オ	仲南小	真ん中に配置した町章には、子どもたちをいつまでも見守り育てようという願いが込められています。
カ	高篠小	ペンマークのように見える青い部分は、実はひらがなの「の」なのです。「の」が4つで…。
キ	満濃南小	逆三角形の上部は「南」を指し示し、中央部の菱形は「小」の字をかたどっています。

「子ども未来夢基金」を 活用して

有効に活用します

「子ども未来夢基金」は、まんのう町の子供たちが心身ともに健やかに育つための事業に充てるために、平成27年3月に設けられました。

まんのう町の子供たちが、将来に向けて科学や体育、芸術などの力を伸ばしていくことができる事業となるよう、学校現場の意見も聴きながら内容を考え、時間をかけて準備をしています。



生涯学習課
課長 松下 信重

花 育

高篠こども園 (10/24・12/12)
四条こども園 (11/ 7・ 1/16)



フラワーショップ「花友」にご協力いただき、こども園の5歳児が、季節の花と触れ合いながらフラワーアレンジメントに挑戦しました。



(10/24 高篠こども園にて)



※平成27年度から町内各小学校で実施しているミズノのヘキサスロンを使用した体力向上プログラムも、「子ども未来夢基金活用事業」の一つです。

香川大学工学部の鶴町徳昭教授が、レーザー光線を使って風船を割るなどの実験をしながら、光と色の関係について分かりやすく教えてくださいました。

また、工作教室では、偏光板を使って『見えるけどさわれない壁』や『偏光板万華鏡』を製作しました。



(10/17 琴南小学校にて)

一番おもしろかったのは、ふうせんをレーザーをあてるじつげんです。びつくりしました。ちがういろにあてると、ふうせんがわるのがびっくりしました。

(琴南小学校1年 貞廣 みゆう)

香川大学による 科学体験教室

琴南小学校 (10/17)
高篠小学校 (11/ 8)

ミュージカル鑑賞 二宮忠八物語

(10/4~2/20
町内すべての小・中学校で順次実施)



何度も挫折を繰り返しながらも自分の夢に向かってひたすら歩み続けた二宮忠八の生涯を、坊ちゃん劇場の3人の俳優が演じました。

役者さん3人、スタッフ1人であんなにすごい演技や照明など、何から何までしてすごいのと思いました。忠八は、お父さんが亡くなったけど、くじけずたくさんの仕事をやり遂げるところに感動しました。私も、忠八さんみたいに、何事にもくじけず努力できるようにしたいと思いました。

(長成小学校5年 岡崎 ななみ)



ワークショップ 「声と体で伝えよう」

あ・え・い・う・え・お・あ・お



(10/5 長成小学校にて)



(10/4 満濃中学校にて)

みんなで声を出したり体を動かしたりしながら、「伝える大切さ」を実感しました。

ワークショップでは、人に思いを伝えることの大切さや難しさが分かりました。これをきっかけに、僕も相手にしっかりと思いを伝えられるように努力しようと思いました。

また、ワークショップの最後にみんなで言った「夢はでっかく、根は深く」という言葉を忘れずに、これからも頑張っていこうと思いました。

(満濃中学校3年 宮崎 陵我)





関係機関からのお知らせ

まんのう町国際交流協会から

(国際交流協会事務局 竹下 陽子)



英語指導に専門的な知識を持つ外国人指導者や地域のバイリンガルの方を講師としてキャラバン隊を編成し、各学校に出向き、楽しく外国語活動を行っています。ペンとノートだけの学習と違い、大道員や小道具を駆使して仮想空間を作り出し、体験型英語学習を可能にしました。初めは恥ずかしがって声が出ない子どもたちも、豊かな経験を待つ外国人たちの巧妙なやりとりに興味を持ち、他の友だちからの影響を受けたりしながら、自然に日常の身近な英語を身に付けることができています。みで進めるプログラムになっています。

英語キャラバン隊がみんなの学校を訪問します！



まんのう町スクールソーシャルワーカー (SSWer) から

(スクールソーシャルワーカー 武川 咲子)

「今日なら言えるかも」と言ったらAさんに、笑顔が戻ったのです。相手は思えばそのすれ違いなら、きっと大丈夫。自分の思いを書き出したり誰かに聞いてもらうことで表に出すことが整理され、修復の手立てが見つかるとあります。そのようにして思いと思いが交わったときは、花がバツと開く瞬間を目のあたりにした時のような嬉しさです。

笑顔が戻ったAさん

これは私の子育て体験談です。保育所に通う娘が、毎朝別れ際に泣き続ける時期がありました。どんなに声をかけても抱っこしても、ただひたすら泣き続けます。ところが、私がいなくなるとピタッと泣きやまってしまうのです。(別れの寂しさだけじゃない?)そう思った先生に相談したら「二人だけの時間を増やしてみたら」とアドバイスをくださいました。(なるほど)と思い、それを意識して過ごしていったら、娘は泣かずにバイバイができるようになりました。



「明日を拓く子」を願って

少年育成センター「らいむ」では、低年齢・多様化している問題行動を未然に防止し、その健全な育成を図るため、補導活動、相談活動、環境浄化活動、広報啓発活動、小さな親睦運動などに取り組んでいます。そして、保護者、学校、地域が一体となってサポートできる体制を整備し、子どもたちが、自分の力で夢に近づいていくことを願って、手助けするつもりです。

まんのう町教育支援機構から

(少年育成センター「らいむ」所長 片井 功)

私たちの周りには、親切を発見し、みんなでの行為を認め、賞賛します。(実行意)。周りの人たちの「ありがとう」の気持ちを伝えることにより、親切の輪を広げます。

「明日を拓く」ために、自分の内なるものを表出し、持っている可能性や良さを存分に発揮できるようなことで、夢は近づいてくるのです。(来夢)

有価な図書、DVDやビデオなどを定期的に回収します。危険箇所や公共施設等の落書きなどを発見し、解決に向けて働きかけます。

積極的な生徒指導に向けて、指導の基本姿勢や事例をもとにした研修を行います。活動状況や情報提供のために、「育成だより」を発行します。

学校、PTA、婦人会、地域安全推進委員、保護司会、商工会の協力による街頭補導を行います。町内の大型量販店、コンビニ、JR駅周辺のたまり場等の重点箇所を巡回補導します。

いじめ、非行や不登校、家庭教育など、少年にかかわる様々な問題や悩みについて電話相談や面接を行い、共に考えます。

相談受付時間：月～金曜日 午前九時から午後四時半まで

仲南小の研究発表会 (10/16)



ライオンのじんの気持ちを考える 仲南小の3年生

先生たちも学んでいます



3つの円の中にある正三角形をさがす 四條小の3年生

四條小の公開授業研究会 (10/28)

仲多度郡・善通寺市小学生陸上記録会

(10月11日：Pikaraスタジアムにて)

開会式に整列したまんのう町内各小学校の児童



6年女子 80mハードル 第3組の様子

入賞者 (第3位まで)

80mハードル

6女	②	山内位音里 (仲南)	14"45
	③	横田 凛 (高篠)	14"91
6男	②	大塚 崇太 (高篠)	14"01
	③	新家 海 (満濃南)	14"22

100m

5女	②	鶴岡 果奈 (四條)	15"90
5男	②	松浦 陸斗 (満濃南)	15"22
6女	③	近藤 菜摘 (仲南)	15"19

走幅跳

6女	①	中村 千晶 (高篠)	387cm
	②	大池 真由 (満濃南)	381cm
	③	木村 七菜 (満濃南)	368cm
6男	③	小嶺 希来 (四條)	383cm

走高跳

5女	②	竹下 実里 (仲南)	111cm
	③	高瀬未莉亜 (長炭)	111cm
※試技数(跳んだ数)の差による			
5男	①	近石 大和 (仲南)	130cm
	②	土井 翔生 (四條)	122cm
	③	小松 由翔 (四條)	119cm
6女	①	増田 乃綾 (高篠)	123cm
	③	石堂 楓花 (四條)	118cm

ジャベリックボール投

5男	①	村田 夏生 (四條)	47.61 m
6女	③	横関 弥月 (満濃南)	32.97 m
6男	①	西岡 太一 (高篠)	49.31 m
	②	山下 義葵 (仲南)	47.58 m

400mリレー

5女	③	長炭 (岡崎・高瀬・西山・平川)	1'04"46
5男	②	満濃南 (石田・渡邊・松浦・曾我部)	1'02"41
6女	②	満濃南 (大池・木村・田岡・三宅)	59"96

あの葉っぱが とりたい!



高篠こども園にて
(3ページに関連記事)

特集

授業が変わる!
今、まんのう町の
学校がめざしている
授業とは?

園・学校ウォッチング

- ・琴南小学校
- ・四条こども園

シリーズ

子育てを
考える



次号(来年2月1日発行)予告

編集・後記

大漁

金子みすゞ

朝焼小焼だ 大漁だ
大羽鰯の 大漁だ

浜は祭りのようだけど
海のなかでは 何万の
鰯のとむらい するだろう

※ 金子みすゞさんは、1903年山口県先崎村(現長門市)生まれの童謡詩人です。26歳で亡くなるまでに500編余の作品を残しました。死後、それらは長く忘れられていましたが、児童文学作家矢崎節夫さんによって見い出され、1984年に『金子みすゞ全集』として出版されました。

浜辺で賑やかに大漁を祝う人たち。けれども、その一方で、たくさん仲間の死を悼み、悲しみに暮れているであろう鰯がいることに思いを寄せる金子みすゞさん。浜の賑わいは、実際に目に見える景色。それに対し、海のなかの鰯の悲しみは、想像できる人だけに感じることができるものです。

思いやりとは、相手の気持ちを慮ること。そこには、豊かな想像力が必要です。

12月4日〜10日は人権週間。いじめは、人としての尊厳を傷つける、あってはならない行為です。見えないところに目を向け、想像力を働かせて、相手の立場に立ったり、その心に寄り添ったりできる子どもに育てたいものです。